

第113回産業計測制御技術委員会 議事録(案)

日時：2014年1月15日(火曜日)13:00～17:00

会場：株式会社 明電舎 大崎会館2階会議室
東京都品川区大崎 2-5-35

【出席者】

○ 産業計測制御技術委員会 (9名)

委員長：柴田昌明(成蹊大)

一号委員：小坪成一(千葉大)、高橋一悟(香川大)、満倉靖恵(慶應大)、金子貴之(富士電機)、
田中雅人(アズビル)、笹岡英毅(アズビル)、染谷博司(東海大)

中野和司(電通大)、松井哲郎(富士電機)、石井千春(法政大)、小田尚樹(千歳科技大)

二号委員：清水創太(早稲田大)、中荃隆(丸王大)、石亀篤司(大阪府大)、宮内秀和(産総研)

幹事：下野誠通(横国大)、五十嵐洋(東京電機大)

幹事補佐：山口崇(明電舎)

【配布資料】

113-0 前回議事録(案)

113-1 IIC名簿(2013年10月1日版)

113-2 第113回産業応用部門研究調査運営委員会 議題

113-3-1 高度センサ応用による環境・機械・生体の計測制御技術創生に関する協同研究委員会 活動報告

113-3-2 先端制御技術の産業応用に関する協同研究委員会 活動報告

113-4-1 平成26年度電気学会産業応用部門大会 OS提案のお願い

113-4-2 平成26年度電気学会産業応用部門大会 シンポジウムテーマ提案のお願い

113-5 電気学会D部門主催の新しい国際ワークショップ(SAMCON)について

113-6 技術委員会表彰リストおよび本部表彰(A賞)・部門表彰について

【議事概要】

0. 前回IIC 議事録(案)確認(下野幹事)資料:IIC-113-0

下野幹事より、資料IIC-113-0に沿って前回議事録(案)の読み上げが行われ、原案の通り承認した。前回、下野幹事より提案のあったHPを通じた技術報告書アピールについて1月17日に開催予定の運営幹事会で具体化していく方針である旨、柴田委員長より報告があった。

1. 運営委員会報告(柴田委員長)資料:IIC-113-2

資料IIC-113-2に沿って、柴田委員長より、部門研究調査運営委員会の報告が行われた。

技術報告作成における引用転載許諾取得作業の注意点について説明があった。執筆者自身の著作であっても、他学会への公表実績のある内容については、引用の際に関連学会からの転載許諾申請が必要となることもあり、注意を要する。また、国際標準化への取組強化について、運営委員会で議論が始まっており、テクニカルレポートTRの制定を行い、規格化およびの制定を積極的に実施するよう要請があったことを確認した。

2. 委員会活動報告(2号委員)

2.1 高度センサ応用による環境・機械・生体の計測制御技術創生に関する協同研究委員会(清水委員) 資料: IIC-113-3-1

第2回委員会を2013年10月25日に早稲田大学にて開催し、4件の話題提供で積極的な議論が交わされた。また、AMC2014にてSpecial Session “Vision Sensing and Data Processing” を提案し、7件すべて acceptされた。2月18日に第3回IIC・東京支部神奈川支所 合同研究会(横浜国立大学)、2月21日に第3回協同研究会(明電舎・沼田市)をそれぞれ開催予定である。

2.2 先端制御技術の産業応用に関する協同研究委員会(田中委員) 資料:IIC-113-3-2

中荃委員の代理で田中委員より、活動報告があった。2013年11月17日に新潟大学で行われた第56回自動制御連合講演会でOS “高機能PID制御系” を実施し、合計10賢の発表が行われた。また、同時に第1回委員会を実施した。今後、第1回見学会(東芝・府中事業所)および第2回委員会を1月17日に予定している。また、2014年5月28日-30日に開催予定のADDCONIP2014(広島)でInvited Session: “Applications in Modeling, Control and signal Processing” を提案し、6件の発表を予定している。2014年4月-6月頃第2回見学会を実施予定である。柴田委員長より、権威ある先生方には産業応用フォーラムやシンポジウムなどのスペシャルイベントでの参加を促してはどうかとの提案があった。

3. 平成26年電気学会産業応用部門大会シンポジウム・オーガナイズドセッションについて(下野委員) 資料: IIC-113-4-1, IIC-113-4-2

下野幹事より、資料IIC-113-4-1, IIC-113-4-2 に沿って平成26年電気学会産業応用部門大会のオーガナイズドセッション、シンポジウム提案について説明があった。これまでの分担の流れから、今回はISAM委員会でシンポジウムを提案頂くことで了承した。

4. D部門主催の新しい国際ワークショップについて(柴田委員長) 資料:IIC-113-5

毎年3月上旬に行われていたIIC/MEC合同研究会での予稿集自己負担化に伴い、それに代わる国際ワークショップ International Workshop on Sensing, Actuation and Motion Control: SAMCON の開催に向けての準備状況について報告が行われた。第1回を2015年3月9日(月)~10日(火)名古屋(SAMCON2015)とし、従来の日本語(査読なし・50件程度)と国際WS(査読あり・50件程度)を同じ会場で同時開催とする。また、参加登録費を徴収し、論文集をDVD/CDとして電子媒体とする方向で進めている。詳細は随時報告していくことを確認した。

5. 技術委員会表彰, 本部表彰(A賞)・部門表彰について 資料:IIC-113-6

A賞・部門表彰枠についてMECとIICの発表数に応じて調整した旨、説明があった。また、本日の講演評価に応じてA賞2件、部門表彰4件を選出することを確認した。

以上